

回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

前月までの3ヵ月間に回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者の数		101 名
内 訳	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態	10 名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後の状態	68 名
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	14 名
	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	1 名
	股関節又は膝関節の置換術後の患者	8 名

回復期リハビリテーション病棟における直近のリハビリテーション実績指数

①	前月までの6ヵ月間に回復期リハビリテーション病棟を退棟した回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	179 名
②	①のうち、リハビリテーション実績指数の計算対象とした患者数	152 名
③	②の患者の退棟時のFIM得点（運動項目）から入棟時のFIM得点（運動項目）を控除したものの総和	4,377
④	②の各患者の入棟から退棟までの日数を、当該患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除したものの総和	74.84
⑤	リハビリテーション実績指数（③/④）	58.48